

環境教育の拠点に

公民館「岡山宣言」を採択
サミット

アジア九カ国の行政、教育担当者が県内の公民館活動を学ぶ国際会議「公民館サミット」（岡山大など主催）の総括会議が一日、岡山市であり、環境教育の拠点として公民館を位置付ける岡山宣言を採択した。

地域ぐるみの環境教育で成果を挙げている岡山市・京山公民館の視察など、サミット開幕（十月二十七日）後の活動について、主催者を代表して岡山大学院の阿部宏史教授が報告。これを受けて事務局が「環境教育を進める上で公民館が果たす役割は大きい。各国の行政機関には、政策、財政面で公民館を支えるこ

とが求められる」とする岡山宣言を発表した。

サミット最終日の三日、締めくくりのシンポジウムが岡山大（岡山市津島中）で開かれる。文

部科学省や国連教育科学文化機関（ユネスコ）の担当者らが出席し、生涯学習における公民館の役割を考える。

（白杵正純）